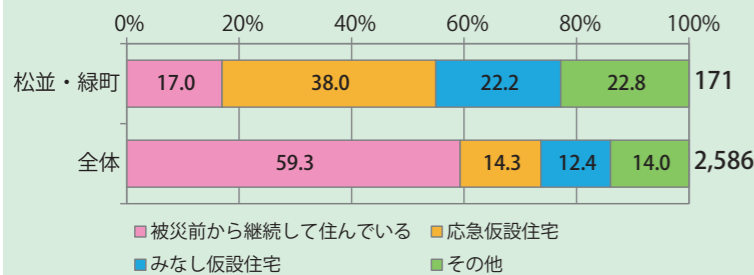


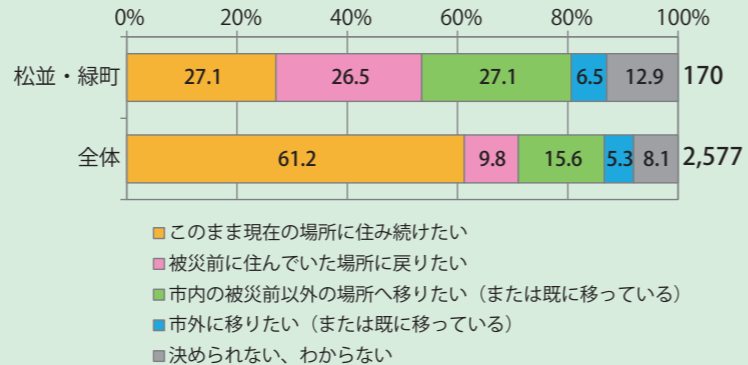
アンケート結果

平成25年12月から平成26年1月にかけて、被災時に東部地区にお住まいの約6,000世帯の方に、アンケートを実施しました。主な設問と結果は、次のとおりです。

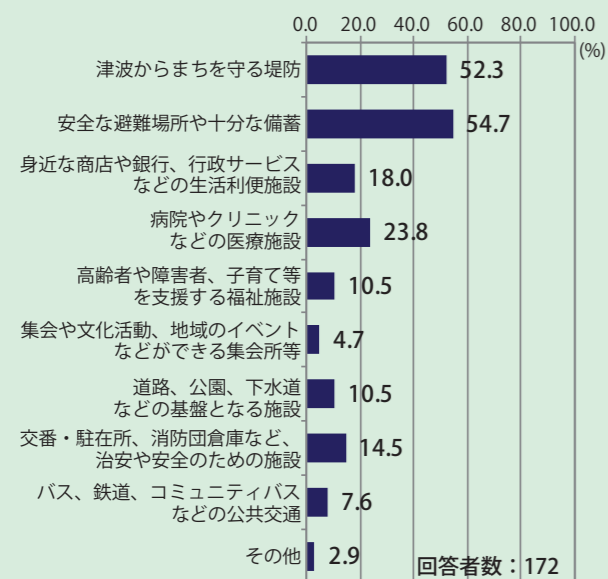
●現在のお住まい



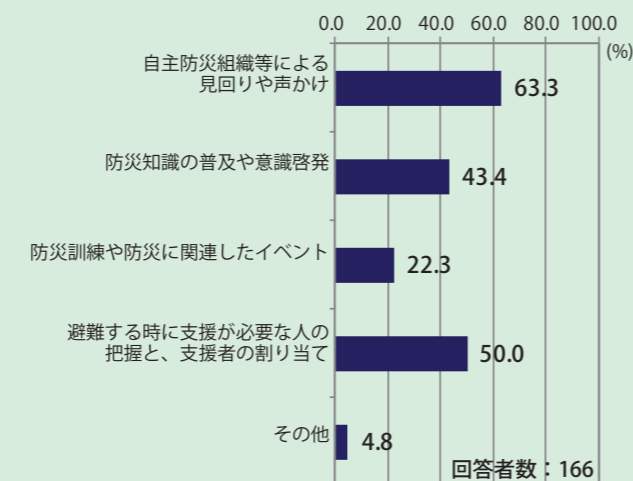
●今後のお住まい



●住み続けるために重要と考えられる施設



●安心・安全のために有効と思う活動



今後の進め方

皆様からいただいた意見について、市では新たな財政措置が必要な課題や、より積極的に解決に取り組むべき案件などを整理・調整し、市としての方針や方向性のとりまとめを行いました。

それを、湊地区の町内会長連合会、渡波地区の行政区長会にてお示した後、市が策定する震災復興基本計画実施計画へ反映させるなど、具体化させていきたいと考えています。

お問い合わせ先

石巻市 復興政策部 地域協働課
 TEL：0225-95-1111 (代表)
 FAX：0225-22-4995
 E-mail：iscviact@city.ishinomaki.lg.jp

皆さまのご意見をお待ちしています



東部地区復興まちづくり だより Vol.1

松並・緑町地区

松並 緑町

石巻市では現在、“どうすれば安心して暮らし続けることができるのか” “どうすれば仮設住宅等にお住まいの方々が戻ってこられるのか” をテーマとした東部地区*の復興まちづくりに、住民の皆さんとともに取り組んでいます。

その一環として、昨年の11月末から地区別に2度の意見交換会を開催しましたので、その結果をお知らせします。

*東部地区とは・・・
 旧北上川より東側の市街地のうち、津波による被害が大きく、かつ土地区画整理事業等の事業を行わない地区を指します。



平成26年8月
 石巻市 復興政策部 地域協働課

第1回意見交換会を開催しました【平成25年12月12日（水）会場：鹿妻コミュニティハウス 住民出席者：39人】

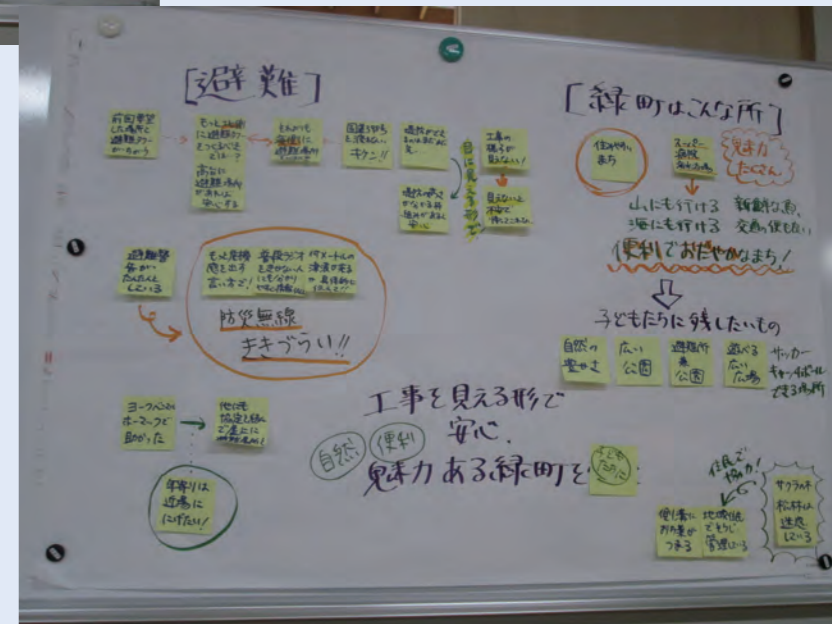
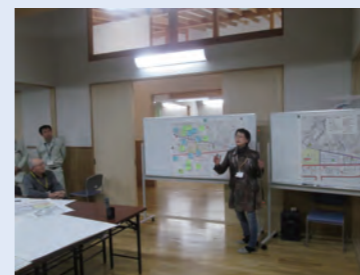
平成25年12月12日 鹿妻コミュニティハウスにて、伊原津・鹿妻・松並・緑町地区の合同意見交換会をとり行いました。

主な意見：

- ・地元が安心して暮らせ、地区外に転出した人が戻ってくるためには、高盛土道路（門脇流留線）の整備が不可欠であり、早期整備を望む。
- ・以前も、今回のような話し合いを行ったが、何も進んでいない。また最初からやり直すのであれば、会議に参加する人はなくなる。
- ・以前の話し合いで緑町に津波避難タワーを提案したが、筒場の復興公営住宅に避難できるようになった。松並は緊急避難する建物がないため、松並に避難タワーを作ってほしい。
- ・先の震災で多くの方が、ヨークベニマルやホームマック、アトムガーデン（パチンコ店）に避難した、これらの建物を津波避難ビル等に指定して欲しい。
(→ヨークベニマル、ホームマックは避難場所として市と協定を結んでいる。)
- ・先の震災では、法山寺方面の車による避難において停車車両のため車が渋滞した、停車しないようにする方策が必要である。また法山寺入り口付近の平場に避難するスペースを整備したらどうか。
- ・国道398号は、震災時横断することが難しかった。以前、横断歩道橋をつくるという提案をしたが、筒場の復興公営住宅からヨークベニマルまでデッキをつなげてはどうか。
- ・小学校区の再編で、松並・緑町地区から湊小まで子供たちが通学することになる。その通学時に震災が起きた場合の、子供たちの避難先も考えておくべきだ。
- ・松並・緑町地区全体に街灯が少なく暗い。夜の現場を見て欲しい。
- ・規模が小さくても、避難タワーを密に配置してもらいたい。



意見交換会の様子



第2回意見交換会を開催しました【平成26年2月24日（月）会場：鹿妻コミュニティハウス 住民出席者：14人】

話し合った主な意見

町内会でできることは率先して実行していき、無理なことは行政にお願いするように、常々心がけている。

道路の清掃や緑町公園の管理など住民で協力して行っている。

自主的なコミュニティ活動や便利施設が多いことで、住みよいまちと意識されています。

松並公園を子どもたちが楽しく使えるように、遊具を揃えたり花を植えたり自主的な町内会の活動を行っている。

暮らしやすさ

山にも海にも歩いて行けるし、新鮮な魚介類が豊富で交通の便もいい。

自然の豊かさや運動ができる広い公園等を子どもたちに残したい。

スーパーや病院にも近く、海水浴場等、魅力がたくさんあった。便利で穏やか、住みやすいまち。

コミュニティ

松並に避難タワーをつくり、更に集会所機能を持たせ松並・緑町のコミュニティの拠点としたい。

避難の時、町内会には若い人がいないため高齢者を助けられない。

根上松復興公営住宅の裏手の山を避難場所として活用できるかどうか検討していく。

ヨークベニマルやホームマックの屋上に避難できるような仕組み（外階段等）を市から依頼してほしい。

災害時に国道398号を安全に渡れるデッキをつくる。

安全・安心

堤防の高さが分かる模型を現地につくれば、住民は安心する。

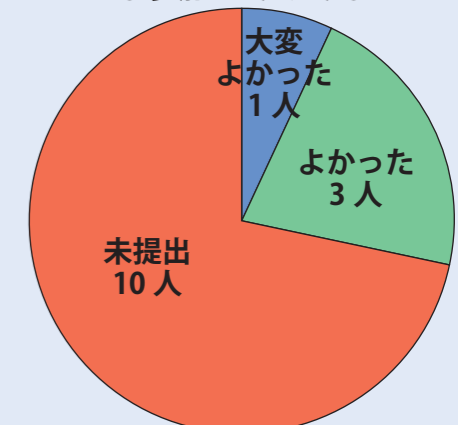
工場などの大きな建物に外階段を設けた避難施設にして、分散させておくことで安心感が高まる。

民間施設を利用した避難施設の提案がありました。

第2回意見交換会に参加した感想・意見等

- ・命にかかわる避難設備の場所、備蓄や収容人数等の使われ方が課題。前回の説明会よりステップアップして松並地区に基準にマッチした堤防避難設備を要求する。今後来る津波対策を考えると、世代が変わり、子供から避難する教育を徹底してもらいたい。具体的に松並地区に1～2箇所防災マップの掲示板をわかりやすく提示するべき。防災無線の強度化も必要。
- ・震災後、見えぬ工事計画の大部分を知ることが出来、よかった。今後の課題がいち早く実現できることを願う。
- ・現在は高盛土道路が早くできることを望む。これが出来れば帰ってくる人も多くなるのではないか。今は少しでも安心できる高盛土道路の事だけでまちづくりまで考えがいかないのが現状。
- ・震災後の工事を早くやってもらいたい。防波堤や高盛土道路はいつ工事をやるのか、看板や模型などを立ててほしい。防災無線をはっきり伝えてほしい。

参加してみても



その他：0人